上 灘 地 区
教育振興会だより

第　３１　号
令和　３年　６月　１日 発行
上 灘 地 区 教 育 振 興 会
事務局　　上 灘 小 学 校 内

令和２年度は、コロナ禍の中で事業が中止となり、あまり活動ができませんでした。令和３年度もコロナ禍は続きますので、「できる何か」を考えながら教育振興会として活動していきます。

令和2年度 役員会報告　（令和3年2月10日）

１　上灘地区教育懇談会　１２月１０日実施　　参加人数１０名
　上灘地区教育振興会だより第３０号（９月）、第３１号（３月）を発行
２　令和２年度年度事業報告・決算について　⇒　承認　残予算は繰り越す。
　○うわなだ桜まつりへの協力　　万燈設置作業に約４０人が協力
　○上灘地区社会福祉協議会との共催事業
　　・老人クラブとの交流学習会・福祉交流会　（中止）
　○上灘地区青少年健全育成協議会
　　（自然を楽しむ会７月　上灘地区青少年スキー教室２月）
３　令和３年度事業計画・予算について　⇒　承認
　コロナの状況によるが、昨年同様に予算組みはしておく。
　○うわなだ桜まつりへの協力　うわなだ桜まつりの万燈設置作業に協力
　○上灘地区社会福祉協議会との共催事業
　　・老人クラブとの交流学習会・福祉交流会　実施できる方法を検討する。
　○上灘地区青少年健全育成協議会
　　（自然を楽しむ会、上灘地区青少年スキー教室）
　意見　「うわなだ子ども風土記」の活用（映像化）を検討する。
４　会則の一部改正
　コロナ等総会が開催できない場合の対応として 役員会の位置づけを明確にする。
　第 10 条　役員会は、総会に提出する事項並びに年間の事業の運営について審議する。
　また、総会を開催できない場合、総会に代わる機関とし、次期総会の承認を得る。　⇒　承認

令和2年度 倉吉東中学校事業報告

地区会長・森本 裕正

令和２年度は新型コロナウィルスの流行に、全世界の誰もが翻弄された一年でした。東中学校上灘地区ＰＴＡもその影響を受け、活動自粛で、中学生の地域での活動の機会をほとんど無くすという結果になりました。

そのなかでも、唯一行えたＰＴＡ活動は、「うわなだ桜まつり」の提灯設置と撤去への参加です。地域の大人の方から伝えられたルールを丁寧に確認しながら、誰もが真剣に作業に取り組んでいました。

三密になることはないと判断し参加を呼びかけましたが、正直、集まるのか、声をかけて良かったのか…など、葛藤がありました。しかし、当日は大勢の中学生と保護者の方が集まってくださいました。心から感謝いたします。この活動に参加してくれたお礼として、子どもたち各家庭に図書カードを購入させていただきました。

今年は、１６歳以上を対象としたワクチン接種がはじまり、いよいよ新型コロナ対策は次のステージにすすむ…そんな一年になることが予測されます。これからの活動は、ポストコロナを一人ひとりが考え、「子どもたちのために」できることを活動の可能性としてイメージしていくことが求められるのではないでしょうか。

「子どもたちのために何かしたい」と手を挙げてくださる上灘地区の地域の皆様と保護者が共に創造するコミュニティー活動があってこそ、それが子どもたちのかけがえのない思い出となり、成長に繋がることと思います。

令和2年度 教育懇談会　（12月10日実施）

コロナ禍のため、参加者を役員とＰＴＡ代表に限定しての開催でした。

上灘地区公民館の山本美保子主事に地区公民館と学校が連携した「うわなだ未来塾」の事業を中心に発表していただきました。（※内容は裏面）

「寒さを吹き飛ばせ！！雪遊びを楽しもう」

上灘地区青少年健全育成協議会　　会 長　山口 大助

コロナ禍のためスキー教室を止め、２月１４日（日）船上山少年自然の家で実施しました。

午前の館内オリエンテーリングでは、班別に「なぞなぞ」や「クイズ」を子どもと大人が協力しあい難問を解きながら館内を巡りました。お昼は食堂で美味しいカレーです♪ 飛沫感染防止のため「ごはんのうた」を歌うことができず、少し残念でした。

さあ！いよいよ午後からは、楽しみにしていた雪遊び♪船上山に雪が無かったため大山町の香取に移動し、大自然の中、雪合戦やチューブソリを力一杯楽しみました。久しぶりの雪の中での遊びに、みんなとても満足そうでした。

最後に、今年度は新型コロナウィルスの影響で各種事業の実施が危ぶまれましたが、各事業の担当者の皆さんと知恵を出し合って予定していた事業を全て終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

除雪、ありがとうございました！

年末の１２月、年始めの１月と、３年ぶりに５０㎝近く積もりました。また、２月も２５㎝積もりました。上灘地区教育振興会の有志会員さんが除雪機を使って除雪をしてくださいました。

【子どもを核とした地域の活性化と再構築をめざして】-鳥取県倉吉市上灘公民館-

キーポイント：子どもと大人、公民館と学校と地域が顔を合わせる関係づくり

1. 事業の内容・工夫

(1)実施主体
倉吉市上灘公民館

(2)連携・協働団体
倉吉市立上灘小学校、上灘地区振興協議会

(3)実施内容
○小学5・6年生に、**地域の魅力を学ぶ地域探検**を実施
※うち1回は小学校の土曜授業（ふるさと学習）とタイアップして実施
○中学生が地域の**桜まつりでの屋台を企画・経営**
※地域との関係が薄くなる中学生が地域デビューする場

【地域探検】

【桜まつり作戦会議】

【桜まつり 中学生屋台（焼きそば）】

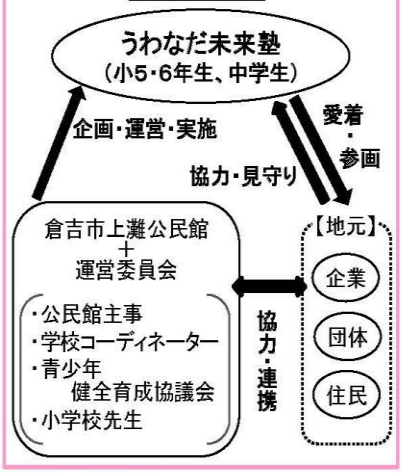
【取組の工夫】

①地域住民・団体や小学校長・コーディネーターからなる企画運営委員会が企画・運営
・6年生の土曜授業とのタイアップが実現し、**6年生全員に地域に愛着と誇りを持つことへの動機づけ**ができた。
・企画運営委員が属する団体・企業をはじめ地域ボランティアを協力者として巻き込み、**地域住民の中に地域で子どもを育てるという意識が高まった。**

②講師は主に地域住民
・この事業を契機に**小学生と地域住民との距離が近くなり**、関係性が深まる。

③中学生屋台企画はワークショップで
・中学生自身が**主体的に考え行動する大切さを知り**、地域のまつりを自分たちで盛り上げたい、楽しいまつりにしたいという意識が芽生えた。

実施体制



2. 事業のきっかけ（取組の背景）

(1)自治公民館（町内会）加入率の低下（H24…82.3%、H26…66%、H30…63%）
核家族化による地域行事参加率の低下
⇒地域コミュニティの劣化

(2)若者の流出（大学進学を機に他県に流出し、かつ その後も戻らない者の率 鳥取県78.6%：全国ワースト1位）
⇒地域に愛着と誇りを持った青少年の育成が必要

(3)倉吉市の小中学校の土曜授業（年4回）（倉吉市教育振興基本計画 第二期）
（「倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成」を目指す）
⇒学校・家庭・地域社会の相互連携による様々な体験活動が必要

3. 担当者の所感、参加者の声

・子どもの成長に関わる人の発掘と、次世代のリーダーとなる人材（大人）を育成することができた。
・事業に参加した子どもの親が、公民館や町内会の行事に参加するようになった。
・自らが考え行動することの楽しさや達成感を感じる中学生が増えた。
（事業協力者数および中学生のまつりへの参画者数が増加）
・地域の色んなことを知ることができて良かった、地域の人と仲良くなれた、等の声。

4. 今後の展開

・次年度以降の実施予定について → 継続して実施
※次年度以降も土曜授業（クイズで地域探検）と 中学生屋台を継続実施

【今後の課題】
・保護者世代の参画（次世代リーダー育成につなげる）

【子どもを核とした地域の活性化と再構築をめざして】-鳥取県倉吉市上灘公民館-

第72回優良公民館表彰　審査委員評価コメント

※審査員評価コメントは、webサイトに紹介されている資料だけでなく、各都道府県等から文部科学省に提出されたすべての資料に基づきコメントされています。

- 自治公民館協議会やさまざまなところとの共催事業として事業を実施。地区内だけの交流では情報などが偏るため、市内の別公民館との共催や住民交流を行っている
- 地域の未来を担う小・中学生を対象にした地域の魅力を発見するための多様な体験学習機会の提供
- 特色ある事業の3年にわたる実施のプロセスがわかりやすい
- 小学校の土曜授業とタイアップし、多くの小学生が主体的に参加できる地域づくり講座「うわなだ未来塾」を開催のほか、ライフステージに応じた学習機会の提供及び人権、防災、環境等の課題別テーマによる学習機会を提供
- 上灘公民館管理委員会による事業計画を作成。内部職員だけでなく運営委員や事業に関与した機関や団体なども交えてPDCAサイクルを重視した評価を実施
- 子供たちの成長はもちろんのこと、事業に関わる大人（地域人材育成）の場としても機能している
- 地域への愛着と誇りを持った青少年の育成等の目標を持ち事業等に取り組んでおり、地域づくり講座で活動した中学生が他の地域まつり事業を企画するなど、未来のリーダー育成につながるよう、学校を核とした地域づくりが図られている

令和元年度第72回優良公民館表彰　上灘公民館【優秀館】受賞

全国で5館の優秀館を受賞しました！

全国の公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として文部科学大臣から表彰をされました。全国の公民館から優良公民館表彰を受けた75館の中から、特に優秀である優秀館5館の一つに選ばれました。

表彰式　日時：令和2年2月14日（金）
場所：文部科学省第2講堂

上灘公民館の受賞は、上灘小学校を核として、今まで積み上げてこられた地域の様々な団体の活動の成果です。

上灘小学校の校長室にある歴代校長先生の写真。峰地光重校長。作文教育では全国的に名の知られた先生。そして、「郷土教育」の実践者でもあります。その伝統を引き継いでいます。

昭和から平成、そして令和へと世の中は変わっていますが、地域全体で子どもたちを育てる活動は生き続けています。